

( 1 ) 実施機関名：

東京大学地震研究所

( 2 ) 研究課題(または観測項目)名：

観測研究データへの永続的識別子付与

( 3 ) 関連の深い建議の項目：

5 研究を推進するための体制の整

備(3) 研究基盤の開発・整備

ア. 観測基盤の整備

( 4 ) その他関連する建議の項目：

4 地震・火山噴火に対する防災リテラシー向上のための研究

(2) 地震・火山噴火災害に関する社会の共通理解醸成のための研究

5 研究を推進するための体制の整備

(4) 関連研究分野との連携強化

( 5 ) 総合的研究との関連：

( 6 ) 平成 30 年度までの関連する研究成果(または観測実績)の概要：

これまで「データ流通ワークショップ」(<http://eoc.eri.u-tokyo.ac.jp/ryutsu/>)での意見交換や、京都大学アカデミックデータ・イノベーションユニットでの議論をもとに、観測研究データへの DOI 等の永続的識別子付与について検討してきた。防災科学技術研究所の陸海統合地震津波火山観測網 MOWLAS では、観測網単位での DOI 付与が実施された。

( 7 ) 本課題の 5 か年の到達目標：

観測研究データに永続的な識別子を付与し、観測研究計画で得られたデータの効率的な公開と利用の促進をはかる。

近年「オープンデータ」をキーワードに、研究データにも DOI ( Digital Object Identifier : 論文等の永続的識別子としてよく知られる ) などの永続的な識別子をつけるという運動が広まりつつある。データに識別子を付与することにより、データを適切に利用 ( 引用 ) することができ、また、論文の被引用件数と同様に、利用された履歴を機械的に追跡できるようになるためデータ提供者の評価にもつながる。本計画では、観測研究で得られたデータについて、識別子をつけて公開するための課題を検討し、実際に公開をすすめる。現計画だけでなく過去の計画で取得したデータの公開についても検討する。

専門家だけでなく非専門家も含む幅広い人々がデータを使えるようになれば、これまでになく新しい発想での解析等が実施される可能性がある。また、データに立脚して地震学への理解を広めることができるようになる。そのためには、データを公開するという意思と、公開したデータを管理、追跡する手法とが必要である。すでに多くのデータが公開されているが、すべてのデータに誰でも容易にアクセスできるという状況には至っておらず、改善の余地がある。

( 8 ) 本課題の5か年計画の概要 :

本課題の実施にあたっては、課題番号 ERI27「研究成果共有データベースの構築」や、観測実施機関の関連する課題との連携を密にする。

関係者間でデータへの DOI 等永続的識別子付与についての情報交換をおこなう。また、5年間の研究期間中に実際のデータのうち、条件の整ったものを対象に永続的識別子を付与して試行的に公開する。DOI の付与には、自ら登録機関に登録する、データジャーナルを出版し、そこにデータペーパーの投稿を受け付ける、既存のデータジャーナルに投稿する、などの手法が考えられる。それぞれの手法の長所・短所などを検討する。また、データの種類やその生産者(観測、実験、数値計算等)によって最適な手法は異なるとも考えられるため、観測研究計画関係者から広く情報提供を求める。

平成 31-32 年度においては、DOI 等の永続的識別子付与と公開について、現状と克服すべき課題を整理する。永続的識別子付与について先行する防災科学技術研究所、海洋研究開発機構、極地研究所、海上保安庁の事例も参考にする。

平成 33-34 年度においては、前年度までの検討にもとづき、識別子として DOI を想定し、公開に必要なシステムの要件を検討し、システム開発を開始する。開発したシステムにより DOI 付与および公開を実施する。観測研究計画の各担当者から得たデータ公開に関する情報を分析する。

平成 35 年度においては、前年度までに実施した DOI 付与と公開について、利用状況等を確認しながらシステムの改善をおこなう。観測研究データの DOI 付与と公開にあたっての課題をまとめる。また、過去の研究計画によって得られたデータに遡って DOI 付与・公開するための課題を検討する。

平成 35 年度においては、前年度までに実施した DOI 付与と公開について、利用状況等を確認しながらシステムの改善をおこなう。観測研究データの DOI 付与と公開にあたっての課題をまとめる。また、過去の研究計画によって得られたデータに遡って DOI 付与・公開するための課題を検討する。

( 9 ) 実施機関の参加者氏名または部署等名 :

東京大学地震研究所 加納靖之

他機関との共同研究の有無 : 有

防災科学技術研究所 汐見勝彦

北海道大学 高橋浩晃

東北大学 内田直希

京都大学防災研究所 澁谷拓郎

九州大学 松島 健

( 10 ) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署等名 : 東京大学地震研究所 地震・火山噴火予知研究協議会 企画部

電話 : 03-5841-5787

e-mail : yotikikaku@eri.u-tokyo.ac.jp

URL : <http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/YOTIKYO/>

( 11 ) この研究課題(または観測項目)の連絡担当者

氏名 : 加納 靖之

所属 : 東京大学地震研究所